



“地域のことは地域で考えよう”

2018年5月28日

おきぎん県内景況・速報 2018年4月

一県内景況は、拡大している一

■個人消費

スーパー売上高は全店ベースは、前年同月を上回り、既存店ベースは下回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。
家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数は上回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。
生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数は下回る。
ホテル稼働率は、ビジネスホテルが前年同月を上回り、シティホテル、リゾートホテルは下回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

■企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

現場主義とお客様からの信頼

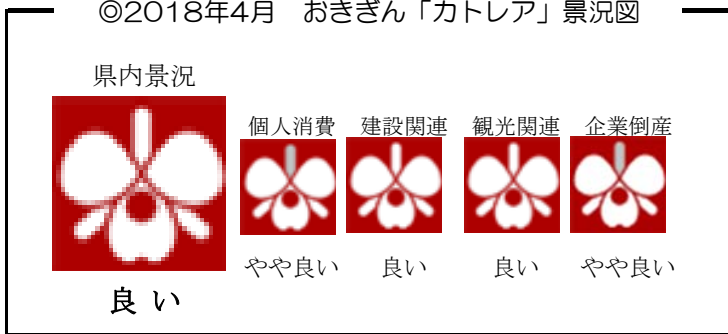
※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2018年4月分)

◎2018年4月 おきぎん「カトレア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

4月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベースは、前年同月を上回りました。既存店ベースは、前年同月を下回りました。百貨店売上高は雑貨などが伸び、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、白物家電が伸びず、前年同月を下回りました。新車販売台数は、普通乗用車や小型乗用車などが伸び、前年同月を上回りました。

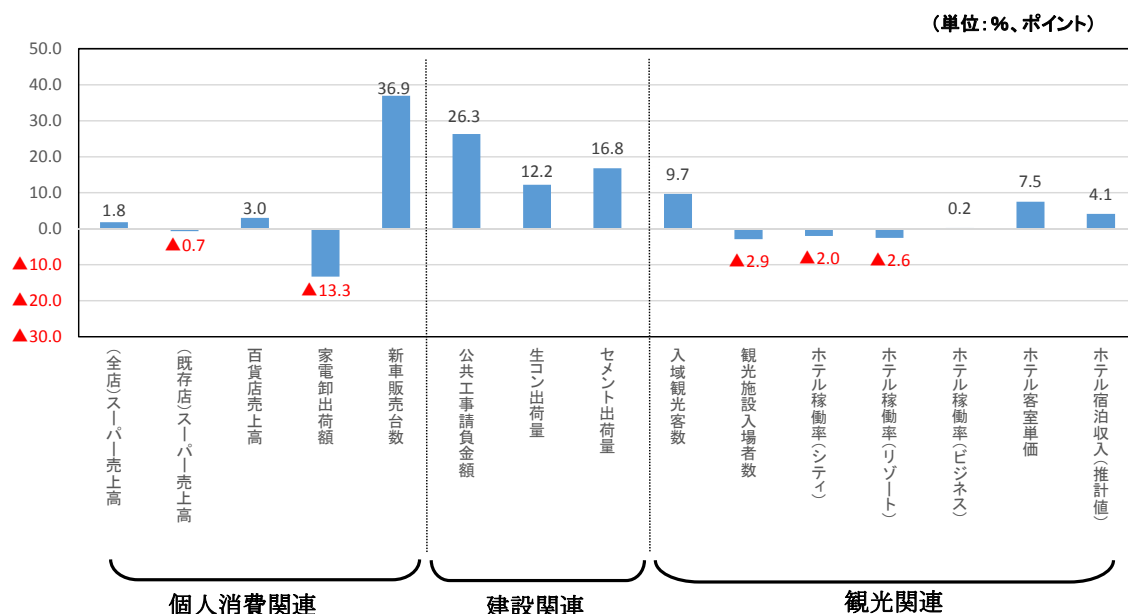
建設関連では、公共工事請負金額は、国や沖縄県発注工事の増加などで前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は67ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数は前年同月を下回りました。ホテル稼働率はビジネスホテルが前年同月を上回り、シティホテル、リゾートホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から51ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比



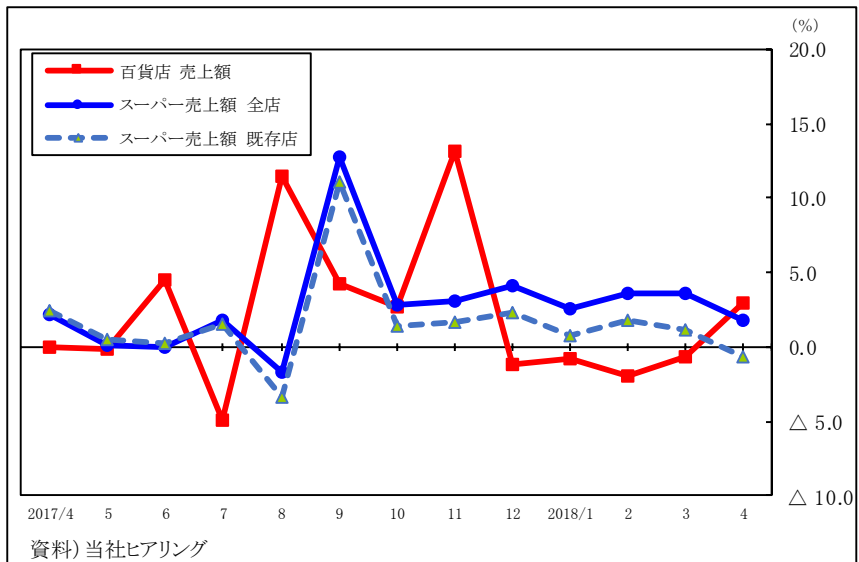


■ 個人消費： (やや良い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベースは前年同月を上回り、既存店ベースは前年同月を下回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2017/4	2.2	2.4	△ 0.02
5	0.1	0.5	△ 0.1
6	△ 0.03	0.2	4.5
7	1.8	1.5	△ 4.9
8	△ 1.7	△ 3.4	11.5
9	12.8	11.1	4.2
10	2.8	1.4	2.7
11	3.1	1.7	13.2
12	4.1	2.3	△ 1.2
2018/1	2.6	0.8	△ 0.8
2	3.6	1.8	△ 1.9
3	3.6	1.2	△ 0.6
4	1.8	△ 0.7	3.0



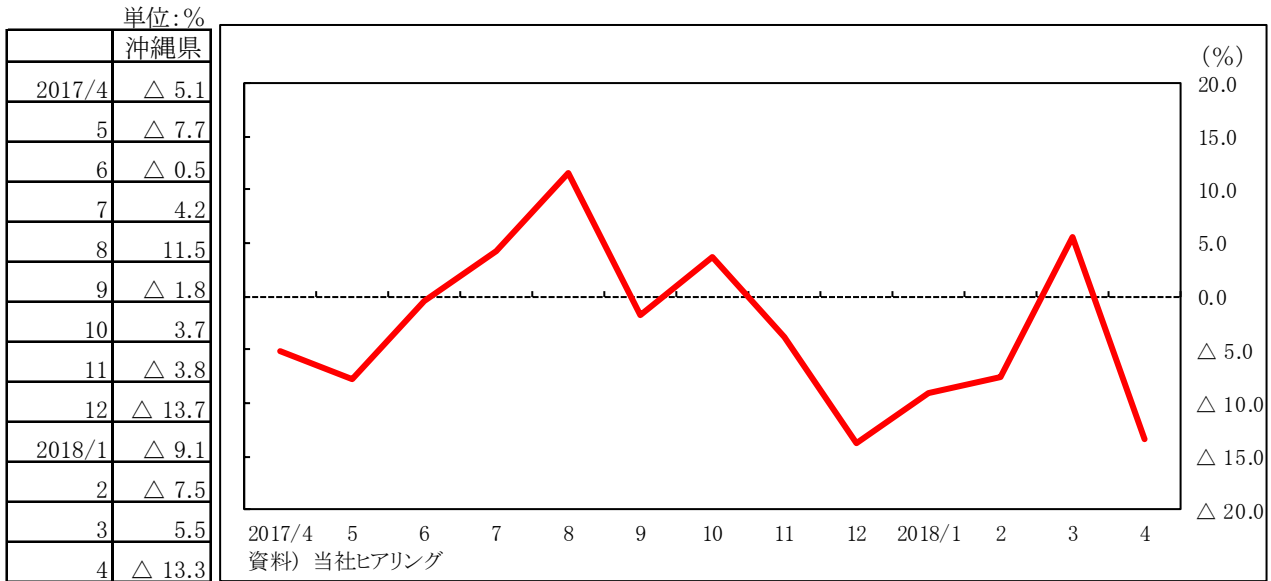
注) 前年同月比

4月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 1.8%増)」は、新規出店効果などにより「食料品(同 2.0%増)」、「家庭用品(同 3.4%増)」の売上が伸び、8ヵ月連続で前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 0.7%減)」は、8ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同 0.8%減)」は、生鮮全般の需要が低調で、前年同月を下回りました。「衣料品(同 4.2%減)」は、昨年に比べ中旬の気温が低く天候に恵まれなかったことから夏物衣料の売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。家電や雑貨など「家庭用品(同 1.0%増)」は、携帯電話などでの売れ行きが堅調だったほか、訪日観光客による雑貨需要(化粧品、小物類)の増加などから、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、雑貨の売上が伸び、5ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(同 3.0%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 4.8%減)」は、「紳士服(同 4.8%減)」、「婦人服(同 5.1%減)」でキャンペーン企画などの販促強化を図ったものの、売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。靴やバッグなどの「身の回り品(同 6.5%減)」は、売り場のリニューアルにより面積が減少したことから、前年同月を下回りました。また、「食料品(同 0.6%減)」は、催事企画や新生活ギフトの売れ行きが伸び悩み、前年同月を下回りました。「家庭用品(同 3.7%減)」は、前年にあった催事が未開催となったことなどから、前年同月を下回りました。一方で、「雑貨(同 16.1%増)」は、売り場のリニューアル効果や、インバウンド需要の増加などにより前年同月を上回りました。

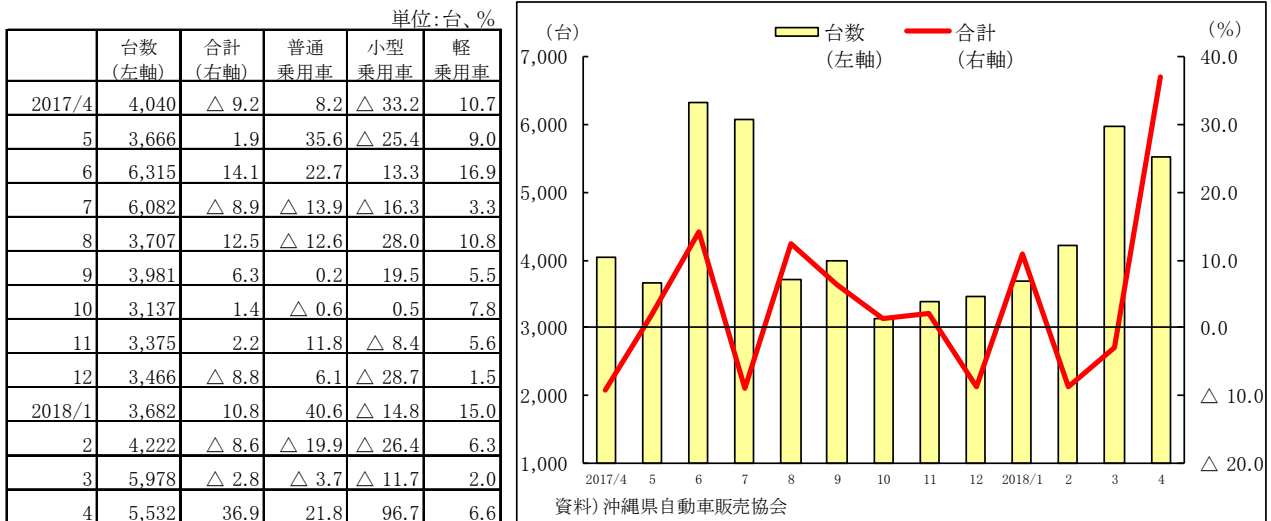
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は2ヵ月ぶりに前年同月を下回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、白物家電(冷蔵庫、洗濯機、エアコン)などの売れ行きが低調だったことから、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました(同 13.3%減)。品目別では、「テレビ(同 8.7%減)」、「冷蔵庫(同 16.7%減)」、「洗濯機(同 9.6%減)」は、前年に伸びた反動から前年同月を下回りました。また、「エアコン(同 32.7%減)」は、高価格帯商品が伸びず、前年同月を下回りました。

③ 新車販売台数…新車販売台数は、3ヵ月ぶりに前年同月を上回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で5,532台(同 36.9%増)となり、3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「軽乗用車(同 6.6%増)」は、需要が堅調に推移し、14ヵ月連続で前年同月を上回りました。また、「普通乗用車(同 21.8%増)」、「小型乗用車(同 96.7%増)」は、前年にレンタカー需要の減少などにより落ち込んだ反動などから、前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

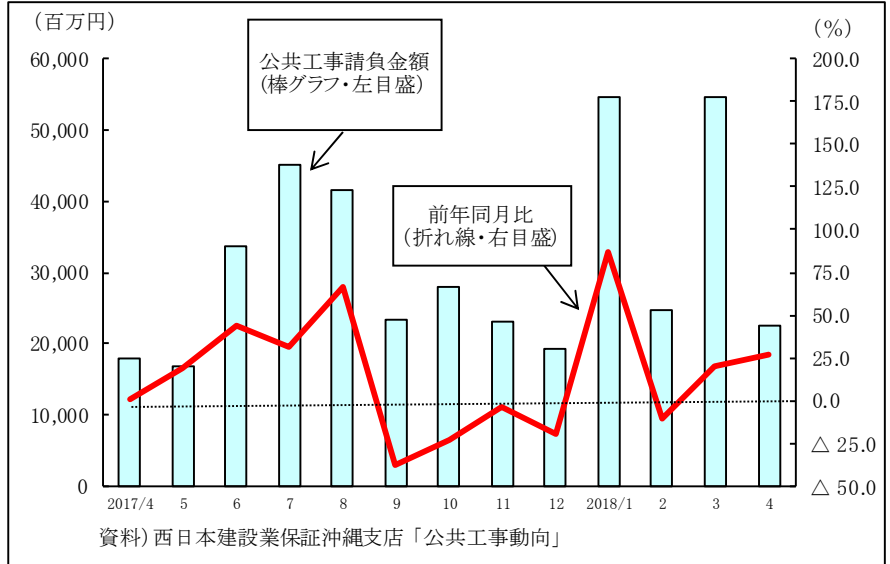


■ 建設関連： (良い)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2017/4	17,823	0.7
5	16,886	18.4
6	33,703	43.9
7	45,031	31.8
8	41,576	66.3
9	23,363	△38.3
10	28,073	△23.5
11	23,134	△3.7
12	19,275	△19.4
2018/1	54,569	87.2
2	24,674	△10.3
3	54,532	19.7
4	22,513	26.3

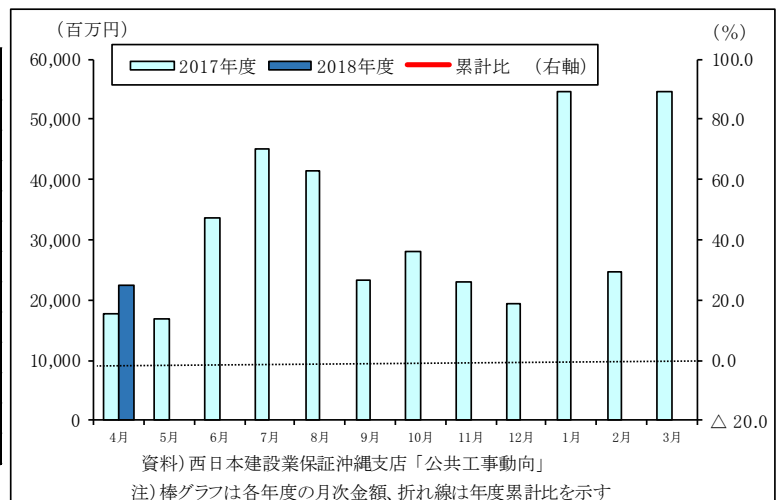


4月の公共工事請負金額は、前年同月比26.3%増の225億1,300万円となりました(2ヵ月連続増)。発注者別でみると、「国(同162.3%増)」や「沖縄県(同82.4%増)」、「その他の公共的団体(同180.1%増)」は前年同月を上回りました。一方で、「独立行政法人等(同90.7%減)」や「市町村(同36.8%減)」は下回りました。

【参考】公共工事(年度累計)・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。

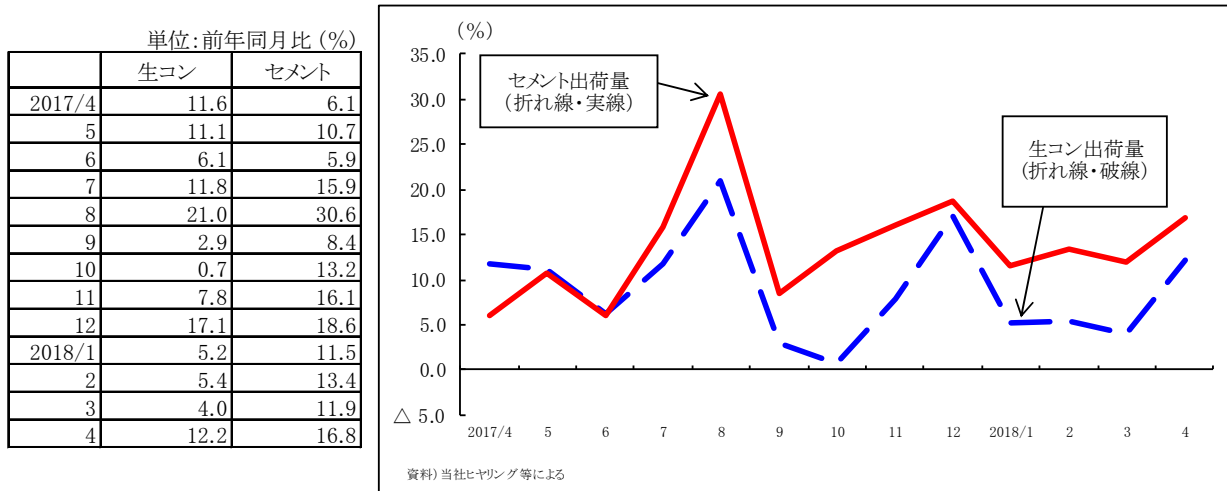
単位:百万円、%

	2017年度	2018年度	累計比(右軸)
4月	17,823	22,513	26.3
5月	16,886		
6月	33,703		
7月	45,031		
8月	41,576		
9月	23,363		
10月	28,073		
11月	23,134		
12月	19,275		
1月	54,569		
2月	24,674		
3月	54,532		



今年度4月期のみ累計を前年度同期と比較すると、26.3%増となっています。
(上記折れ線グラフ)

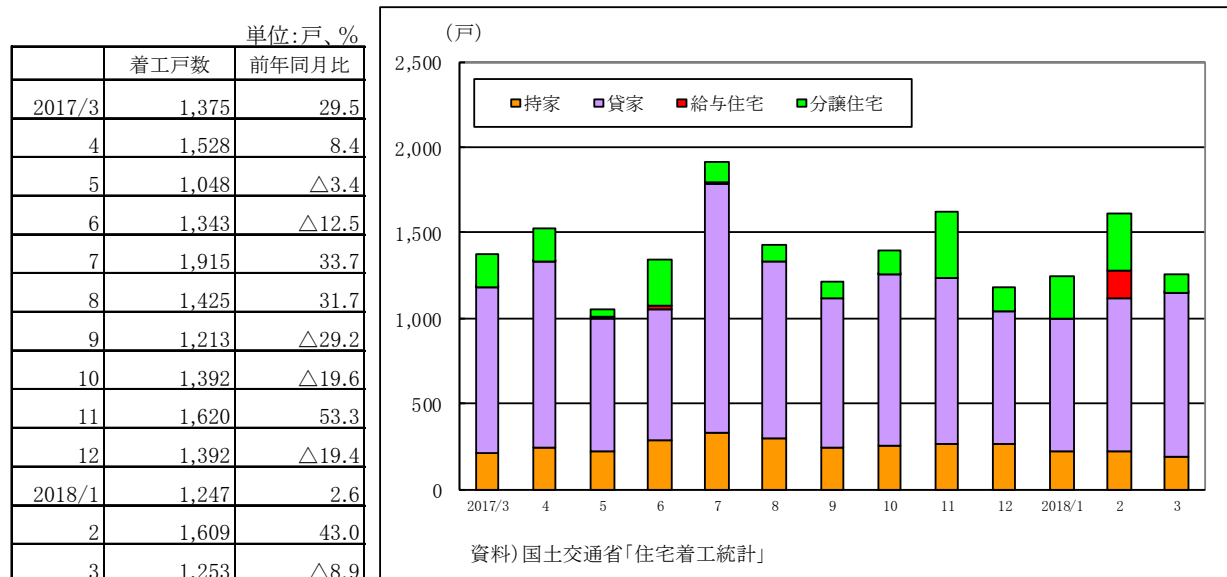
②建設資材・・・生コン、セメントはともに前年同月を上回る。



(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、生コンの出荷量は12.2%増と14ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より8.4%下回ったものの、民間工事向け出荷が23.4%上回りました。セメント出荷量は16.8%増と17ヵ月連続で前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資(3月)・・・着工戸数は前年同月を下回る。

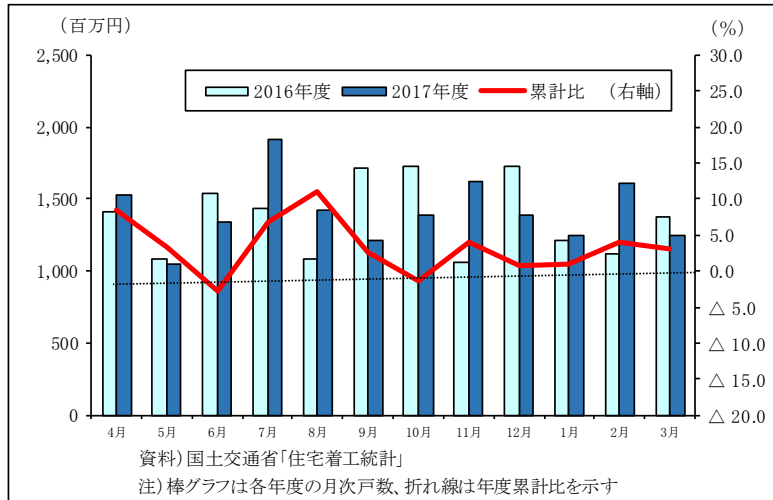


新設住宅着工戸数(3月)は、全体で前年同月比8.9%減の1,253戸と3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「持家(同10.6%減)」や「貸家(同1.5%減)」、「分譲住宅(同45.3%減)」は前年同月を下回りました。一方で、「給与住宅(同66.7%増)」は上回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年度を上回る。

単位:百万円、%

	2016年度	2017年度	累計比 (右軸)
4月	1,409	1,528	8.4
5月	1,085	1,048	3.3
6月	1,535	1,343	△2.7
7月	1,432	1,915	6.8
8月	1,082	1,425	10.9
9月	1,714	1,213	2.6
10月	1,731	1,392	△1.2
11月	1,057	1,620	4.0
12月	1,728	1,392	0.8
1月	1,215	1,247	1.0
2月	1,125	1,609	4.1
3月	1,375	1,253	3.0



年度累計で見ると、3.0%増となっています。(上記折れ線グラフ)

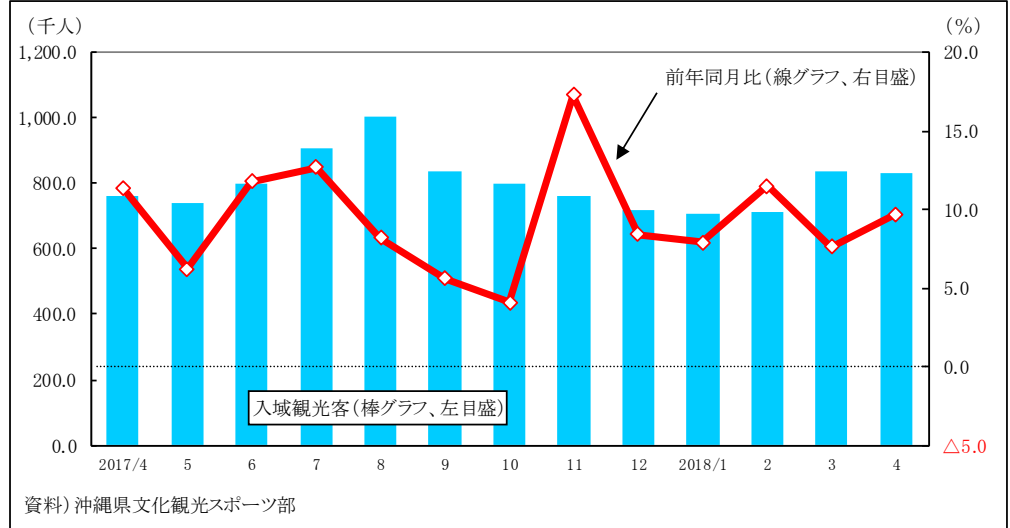


■観光関連： (良い)

①入域観光客数 (国内客・外国客の合計)・・・67ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2017/4	759.2	11.4
5	740.6	6.2
6	798.8	11.8
7	907.9	12.7
8	1,002.5	8.2
9	837.1	5.6
10	799.3	4.1
11	762.9	17.3
12	718.5	8.4
2018/1	704.3	7.9
2	711.4	11.5
3	837.4	7.6
4	833.2	9.7

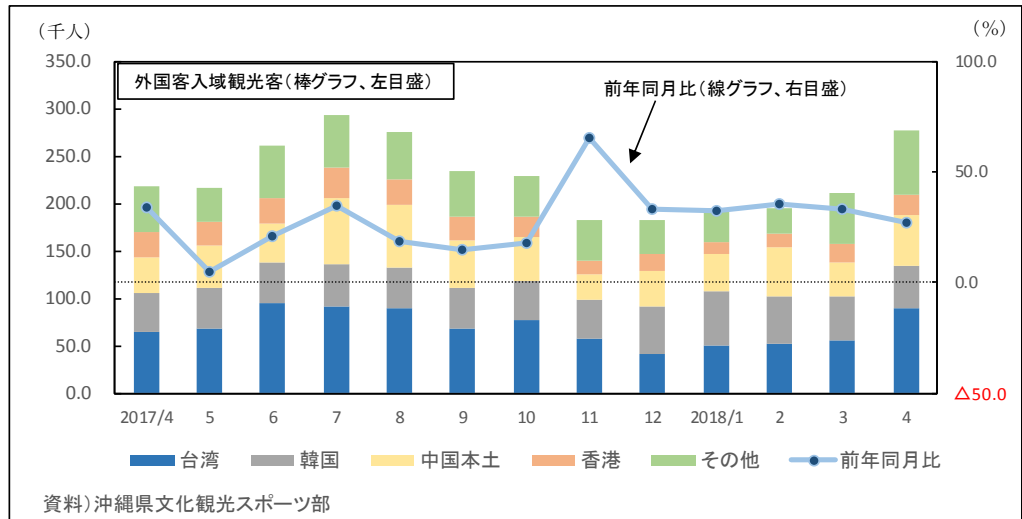


※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数・・・14ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2017/4	217.6	34.2
5	216.8	5.0
6	261.5	21.1
7	292.7	34.7
8	275.7	18.8
9	233.5	14.8
10	229.2	17.7
11	182.4	65.5
12	183.1	33.5
2018/1	194.4	32.1
2	194.8	35.2
3	210.3	32.8
4	276.8	27.2



※外国客は乗務員等を含む

4月の入域観光客数は、74,000人多い833,200人(前年同月比9.7%増)となり、67ヵ月連続で前年同月を上回りました(4月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同2.7%増)」は556,400人と、春休み並びにゴールデンウィークによる旅行需要の高まりや、航空会社による販売取組の強化(先行割引航空券の販売)等により好調に推移したことなどから、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同27.2%増)」は、276,800人と14ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充(増便、高雄－那覇路線の新規就航等)やクルーズ船の寄港回数増加等により、前年同月を上回りました。

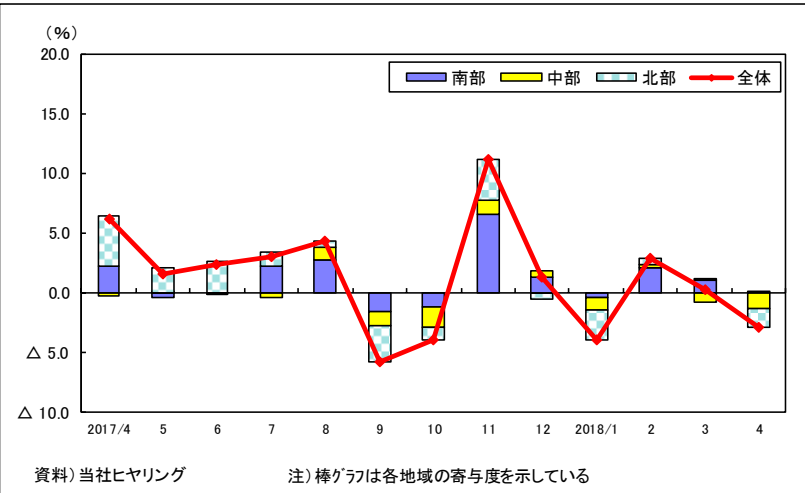
「台湾(同39.9%増)」「韓国(同6.7%増)」「中国本土(同39.1%増)」「香港(同10.6%減)」

※乗務員等を除く2018年4月実績＝全体792,800人(同8.2%増)、外国客236,400人(同23.9%増)、国内客は変わらない。

② 観光施設入場者数・・・3ヵ月ぶりに前年同月を下回る。

単位:%

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2017/4	r 6.2	5.8	△ 1.8	r 8.7
5	1.5	△1.2	0.04	4.2
6	2.4	△0.1	△ 1.3	5.0
7	3.0	6.7	△ 3.9	2.2
8	4.3	8.1	9.7	1.0
9	△ 5.8	△4.7	△ 10.5	△5.6
10	△ 4.0	△3.1	△ 14.5	△2.0
11	11.1	15.7	9.7	7.3
12	1.2	3.2	3.2	△1.2
2018/1	△ 4.0	△1.2	△ 7.7	△5.1
2	2.9	5.6	1.8	1.2
3	r 0.2	2.6	r △ 7.0	0.1
4	△ 2.9	0.03	△ 11.3	△3.1



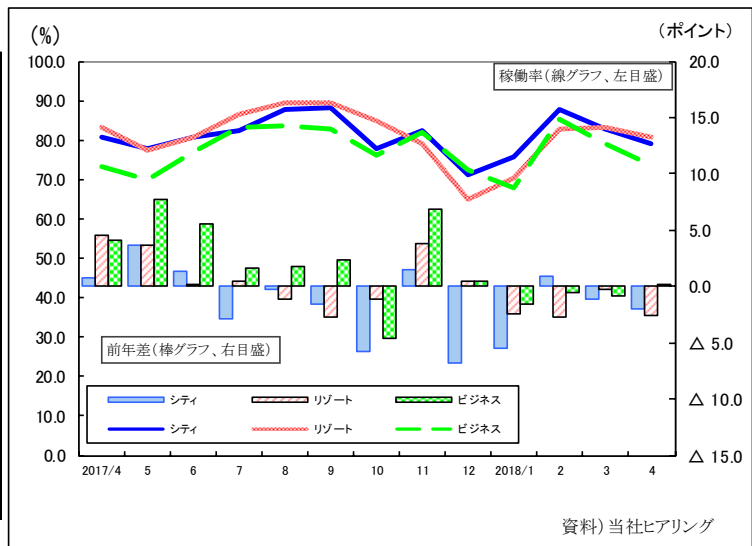
※調査対象施設数＝南部6、中部6、北部5施設
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

観光施設入場者数は、全体で前年同月より2.9%減少(3ヵ月ぶり)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同0.03%増と3ヵ月連続で前年同月を上回り、中部は同11.3%減と2ヵ月連続、北部は同3.1%減と3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

③ ホテル稼働率・・・ビジネスホテルは前年同月を上回り、シティホテル、リゾートホテルは下回る。

単位:%、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2017/4	80.9	83.1	73.4	r 0.7	4.6	4.1
5	77.6	77.2	69.9	3.6	3.7	7.7
6	80.5	80.8	76.9	1.4	0.1	5.6
7	82.2	86.6	83.0	△ 2.9	0.4	1.7
8	87.6	89.4	83.8	△ 0.2	△ 1.1	1.8
9	88.0	89.3	82.8	△ 1.5	△ 2.8	2.4
10	77.6	84.9	76.3	△ 5.8	△ 1.1	△ 4.6
11	82.4	78.9	81.8	1.5	3.8	6.8
12	71.2	65.0	72.5	△ 6.8	0.5	0.5
2018/1	75.8	70.5	68.0	△ 5.5	△ 2.4	△ 1.6
2	87.8	82.8	85.2	0.9	△ 2.7	△ 0.5
3	82.8	83.0	79.0	△ 1.2	△ 0.2	△ 0.8
4	78.9	80.5	73.6	△ 2.0	△ 2.6	0.2



注) シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス7ホテル

注) 2018年4月については、サンプル調査の都合上、ビジネスホテルは6ホテルとなっている。

注) 2018年1月より、シティホテル対象施設数が増(9⇒8)となったことから、2017年1月以降の数値を遡って改定した。

注) 2016年4月より、リゾートホテル対象施設数が増(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

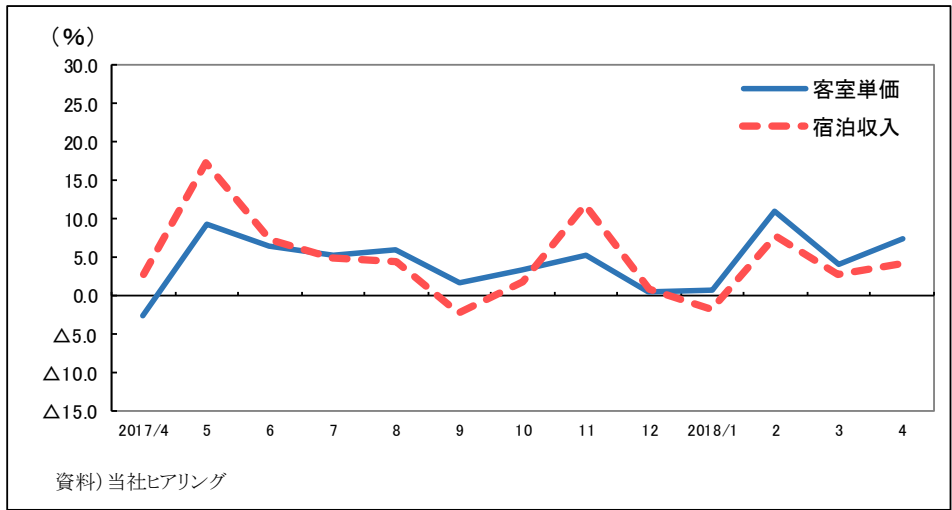
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが78.9%と2.0ポイント減少(2ヵ月連続)、リゾートホテルが80.5%と2.6ポイント減少(4ヵ月連続)、ビジネスホテルが73.6%と0.2ポイント上昇(4ヵ月ぶり)しました。

④ ホテル客室単価・宿泊収入・・・客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位:%

	客室単価	宿泊収入
2017/4	△2.6	2.7
5	9.3	17.4
6	6.5	7.3
7	5.3	4.9
8	6.0	4.5
9	1.7	△2.3
10	3.4	1.9
11	5.2	11.8
12	0.6	0.9
2018/1	0.8	△1.7
2	11.1	7.9
3	4.0	2.8
4	7.5	4.1



※対象施設数:26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2018年1月より、シティホテル対象施設数が変更(9⇒8)となったことから、2017年1月以降の数値を遡って改定した。

※2016年4月より、リゾートホテル対象施設数が変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比 7.5%増と前年同月を上回りました。**宿泊収入**も同4.1%増と前年同月を上回りました。

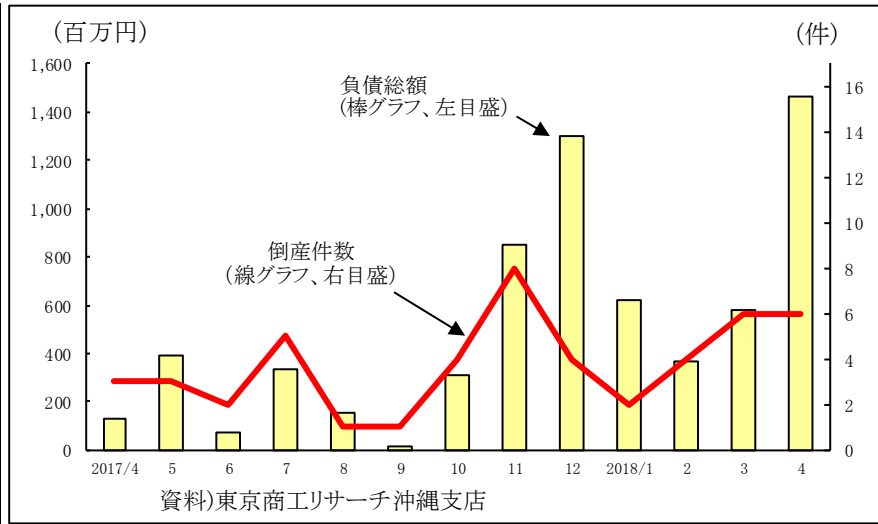


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2017/4	130	3
5	391	3
6	70	2
7	334	5
8	157	1
9	16	1
10	307	4
11	852	8
12	1,299	4
2018/1	620	2
2	366	4
3	576	6
4	1,467	6



4月の企業倒産件数は、6件(うち大口倒産は3件)となり、同100.0%増と前年同月を上回りました。
負債総額は14億6,700万円となり、前年同月より1,028.5%増加しました。

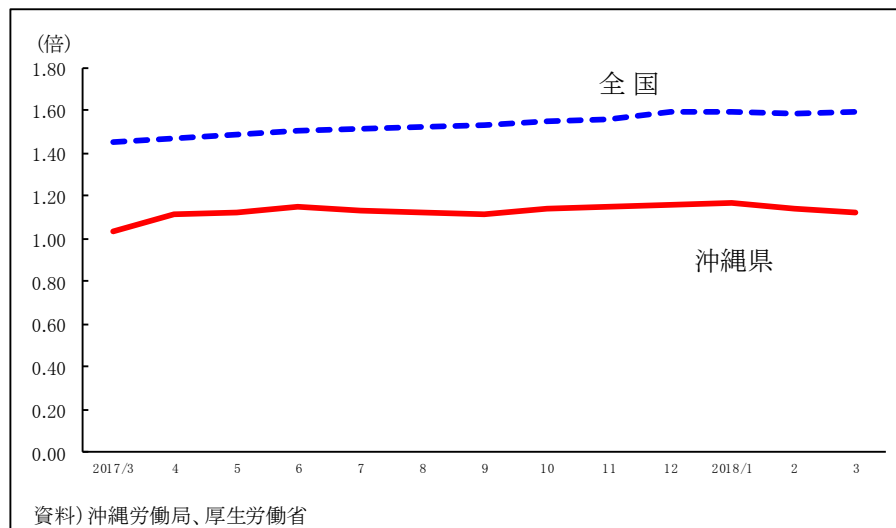


【参考】雇用関連： (良い)

有効求人倍率(3月)・・・沖縄は前月より低下、全国は上昇。

単位:倍

	沖縄県	全国
2017/3	1.03	1.45
4	1.11	1.47
5	1.12	1.49
6	1.15	1.50
7	1.13	1.51
8	1.12	1.52
9	1.11	1.53
10	1.14	1.55
11	1.15	1.56
12	1.16	1.59
2018/1	1.17	1.59
2	1.14	1.58
3	1.12	1.59

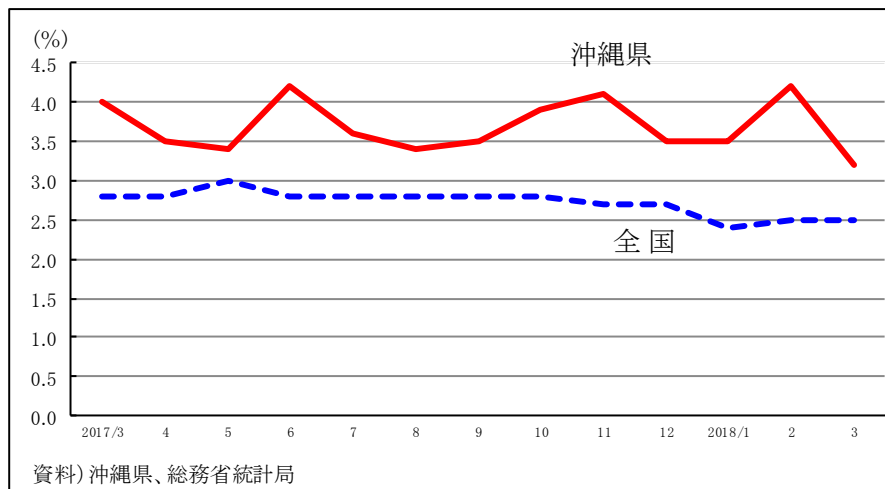


注)季節調整済

3月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比2.4%減の28,205人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.6%減の25,177人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.12倍となり前月より0.02ポイント低下しました。

完全失業率（3月）・・・沖縄は前月より低下、全国は同水準。

	単位:倍	
	沖縄県	全国
2017/3	4.0	2.8
4	3.5	2.8
5	3.4	3.0
6	4.2	2.8
7	3.6	2.8
8	3.4	2.8
9	3.5	2.8
10	3.9	2.8
11	4.1	2.7
12	3.5	2.7
2018/1	3.5	2.4
2	4.2	2.5
3	3.2	2.5



注) 季節調整済

3月の完全失業率(季節調整値)は、3.2%となり前月より1.0ポイント低下しました。